

**大阪商業大学大学院**  
**地域政策学研究科 地域経済政策専攻**

**入学試験問題(一般・社会人)**

**【博士前期課程】**

平成 23 年度 (秋期) 小論文・外国語(英語)  
平成 23 年度 (春期) 小論文

小論文問題

次の①～③の問題の内、1つだけ選択して解答用紙に記入してください。解答用紙には選択した問題の番号を必ず記入してください。

①

産業化（工業化）過程における都市と農村の関係について、論じて下さい。なお、産業革命期の西ヨーロッパ、高度経済成長期の日本、社会主義市場経済の体制のもとでの現代中国の歴史的経験をふまえ、今日の新興国（BRICs など）の場合に焦点を合わせて論ずるのが望ましい。

②

現代の貧困の指標としてイギリスの貧困学者ピーター・タウンゼントが指摘した相対的貧困について具体的な例をあげて述べなさい。

③

情報の非対称性が存在する場合、「市場の失敗」が起きることが経済学的に知られている。住宅市場は然りである。それを説明しなさい。かかる「市場の失敗」の問題解消には、住宅政策が求められる。これに関係する住宅政策を紹介し、その政策の狙いと限界を説明しなさい。

小論文問題

次の①～③の問題の内、1つだけ選択して解答用紙に記入してください。解答用紙には選択した問題の番号を必ず記入してください。

①

1960年代から1980年代までの韓国の経済成長を可能にした要因について、自由に論じて下さい。なお、(1) 政治との関係、(2) 日本との関係、(3) 三星、現代などの「財閥」との関係に触れるように、注意してください。

②

人口減少社会の到来による国力の低下が懸念されて久しい。その場合の国力とは、軍事力、経済力、技術力、ソフト・パワーといった外国の人々をひきつける日本文化全体の総合力を指すと思われる。また、逆に、この人口減少化のメリットを指摘する向きもないではない。人口ボーナスといわれる構造から人口オーナスへの転換の時代に直面する現代人として、来るべき社会経済システムについて、自由に述べなさい。

③

低所得層の居住水準の改善に政府が補助を行うことには大方異存はなかろう。しかし、如何なる形で行うべきかについては、諸説紛々である。諸説を批評しながら自説を展開して下さい。